



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月28日

上場会社名 美樹工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1718 URL <https://www.mikikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 魚澤 誠治

TEL 079-281-5151

四半期報告書提出予定日 2021年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	7,904	△4.7	703	8.9	705	12.1	395	2.6
2020年12月期第1四半期	8,291	△2.5	645	10.8	629	7.0	385	5.6

(注)包括利益 2021年12月期第1四半期 490百万円 (10.2%) 2020年12月期第1四半期 445百万円 (7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	362.21	—
2020年12月期第1四半期	353.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	28,603	15,583	48.0
2020年12月期	27,282	15,147	49.0

(参考)自己資本 2021年12月期第1四半期 13,718百万円 2020年12月期 13,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	50.00	—	110.00	160.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2021年12月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当 50円00銭、記念配当 60円00銭(設立60周年記念配当)

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	△5.2	500	△22.9	500	△21.3	300	△30.0	274.43
通期	28,000	2.7	1,000	△23.4	1,000	△23.2	650	△18.3	594.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	1,153,263 株	2020年12月期	1,153,263 株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	60,081 株	2020年12月期	60,081 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	1,093,182 株	2020年12月期1Q	1,093,182 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により発令された緊急事態宣言の影響から経済活動が停滞し、前期に引き続き厳しい状況が続きました。

建設業界におきましては、民間設備投資や防災・減災事業などの公共投資は底堅く推移したものの、設備投資に消極的な傾向が出始めるなど、業況の先行きについては依然として不透明感が残る状況となっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新規顧客の獲得など、受注拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、設備事業セグメントにおいて前年同時期に大型の空調設備改修工事が完成していた影響から前年同四半期と比較して完成工事高が減少したことや、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社において引渡棟数が減少した影響から、売上高は前年同期比4.7%減の7,904百万円となりました。

利益につきましては、売上高は減少しましたが、当社グループ全体で販売費及び一般管理費の抑制に努めた影響から、営業利益は前年同期比8.9%増の703百万円、経常利益は前年同期比12.1%増の705百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2.6%増の395百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

<建設事業>

建設事業セグメントに関しましては、工事の進捗等による影響から、売上高は前年同期比2.5%増の2,858百万円となりました。また、売上高の増加に加えて販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は前年同期比15.0%増の245百万円となりました。

<設備事業>

設備事業セグメントに関しましては、当社の設備工事において前年同四半期は大型の空調設備改修工事が完了したこと、売上高は前年同期比20.1%減の1,030百万円、営業利益は前年同期比64.7%減の44百万円となりました。

<住宅事業>

住宅事業セグメントに関しましては、引渡物件の減少により売上高は前年同期比5.2%減の3,494百万円となりましたが、営業活動の見直しに伴い販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は前年同期比40.8%増の238百万円となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業セグメントに関しましては、連結子会社である株式会社リブライフにおいて前年同四半期に不採算事業の見直しにより大阪府下での不動産仲介業から撤退した影響から、売上高は前年同期比2.9%減の347百万円となったものの、収益性が向上した結果、営業利益は前年同期比27.3%増の136百万円となりました。

<その他事業>

その他事業セグメントに関しましては、売上・利益ともにほぼ横這いで推移し、売上高は前年同期比2.3%増の173百万円、営業利益につきましては前年同期比1.7%減の35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、完成工事代金の回収により現金預金が増加したことや、工事完成に伴い受取手形・完成工事未収入金等が増加した影響等により、28,603百万円（前連結会計年度末は27,282百万円）となりました。

負債につきましては、工事代金の支払により短期借入金が増加したことや、新本社建設に伴い長期借入金が増加した影響等から、13,019百万円（前連結会計年度末は12,134百万円）となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により15,583百万円（前連結会計年度末は15,147百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績につきましては、2021年2月13日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,261,103	3,039,561
受取手形・完成工事未収入金等	3,306,657	3,637,557
たな卸資産	4,760,701	3,804,186
預け金	46,157	172,076
その他	701,849	451,997
貸倒引当金	△3,083	△2,668
流動資産合計	10,073,385	11,102,710
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,651,147	2,616,149
機械・運搬具(純額)	1,736,806	1,671,776
工具器具・備品(純額)	694,970	699,803
土地	9,124,744	9,124,744
リース資産(純額)	61,982	80,781
建設仮勘定	1,414,801	1,769,572
有形固定資産合計	15,684,454	15,962,827
無形固定資産		
リース資産	—	3,200
その他	12,218	11,807
無形固定資産合計	12,218	15,007
投資その他の資産		
投資有価証券	581,944	599,680
繰延税金資産	481,058	475,459
その他	492,765	491,429
貸倒引当金	△43,392	△43,242
投資その他の資産合計	1,512,375	1,523,326
固定資産合計	17,209,048	17,501,161
資産合計	27,282,433	28,603,871

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,628,553	1,570,857
短期借入金	1,970,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,121,475	1,123,182
リース債務	28,370	25,433
未払法人税等	187,565	195,200
未成工事受入金	1,435,432	854,312
賞与引当金	153,654	322,130
役員賞与引当金	20,700	2,500
完成工事補償引当金	34,713	37,563
資産除去債務	47,500	46,467
その他	794,559	840,813
流動負債合計	7,422,523	8,018,461
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	3,049,431	3,318,591
リース債務	35,368	63,641
退職給付に係る負債	568,727	577,381
役員退職慰労引当金	113,885	98,470
資産除去債務	274,190	272,951
その他	370,524	370,471
固定負債合計	4,712,127	5,001,507
負債合計	12,134,650	13,019,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	11,953,618	12,294,920
自己株式	△110,378	△110,378
株主資本合計	13,313,880	13,655,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,243	66,613
退職給付に係る調整累計額	△3,627	△3,354
その他の包括利益累計額合計	53,615	63,259
非支配株主持分	1,780,286	1,865,461
純資産合計	15,147,782	15,583,903
負債純資産合計	27,282,433	28,603,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,291,366	7,904,204
売上原価	6,354,712	6,111,165
売上総利益	1,936,654	1,793,038
販売費及び一般管理費	1,290,828	1,089,978
営業利益	645,826	703,060
営業外収益		
受取利息	1,740	1,652
受取配当金	—	1,555
持分法による投資利益	4,584	2,752
その他	3,274	5,001
営業外収益合計	9,599	10,961
営業外費用		
支払利息	7,332	7,470
支払手数料	12,760	—
その他	5,936	849
営業外費用合計	26,028	8,320
経常利益	629,397	705,701
特別利益		
固定資産売却益	38,364	—
特別利益合計	38,364	—
特別損失		
固定資産除却損	194	0
特別損失合計	194	0
税金等調整前四半期純利益	667,566	705,701
法人税等	203,578	224,565
四半期純利益	463,988	481,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	78,020	85,175
親会社株主に帰属する四半期純利益	385,967	395,960

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	463,988	481,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,224	9,370
退職給付に係る調整額	468	273
その他の包括利益合計	△18,755	9,643
四半期包括利益	445,232	490,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367,211	405,604
非支配株主に係る四半期包括利益	78,020	85,175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。